



沖縄経済を進化させる情報紙

Okinawa Venture studio

Oct. 2022
Vol.

沖縄

ベンチャースタジオ

70

Take
Free

読者プレゼント有

【特集】

「第7回世界のウチナーンチュ大会」記念

メイドイン沖縄の世界の楽器



【表紙の人インタビュー】

green note coaster

ミュージシャン

【ナイスアイデアなナイスアイテム】

ポーたま／OKINAWAミント缶

【ビジネスの挑戦者たち】

ゆいまーる沖縄(株)／鈴木修司代表取締役社長

ネットワーク会員プレスリリース

OVS News

沖縄県と福建省 友好県省締結25周年

海外レポート

沖縄ベンチャースタジオWEBサイト



〒901-0152 沖縄県那覇市小禄1831-1
沖縄産業支援センター4階401
TEL 098-859-6237 <https://www.okinawa-ric.jp/>
発行：(公財)沖縄県産業振興公社

銀座本校・大阪校・名古屋校・福岡校・札幌校、全15校

TRADERS ACADEMY

トレーダーズアカデミー

お申込み



開校記念動画

取材と代表から
沖縄県民の皆様
へメッセージ！



なぜ株式投資で利益を出せるのか？理解できるセミナー開催中

株専門の人気校が**沖縄上陸!!**

会場 沖縄産業支援センター

10/8 (土)	10:30~12:30
10/25 (火)	10:30~12:30
11/15 (火)	10:30~12:30
11/26 (土)	10:30~12:30
12/5 (月)	10:30~12:30

体験勉強会

10/8 (土)	13:30~15:30
10/25 (火)	13:30~15:30
11/15 (火)	13:30~15:30
11/26 (土)	13:30~15:30
12/5 (月)	13:30~15:30

※午前のセミナーを受けた方が参加できるセミナー(勉強会)となります。

初心者向け

参加費無料!

テレビCM
放送中!



※ご希望の方には
10:30~15:30まで
(休憩 60分)
続けての参加も
受け付けます。

TEL 0120-69-8504 (銀座本部)

トレーダーズアカデミー 沖縄

検索

SPECIAL

「第7回世界のウチナーンチュ大会」記念

メイドイン沖縄の

世界の楽器



世界に広がるウチナーンチュが参画し、さまざまな形でウチナーネットワークの継承・発展に貢献してきた「世界のウチナーンチュ大会」。その第7回大会が、今年10月30日から5日間に渡って開催される。琉球王国の伝統、そして海外文化の影響を大きく受け独特の存在感を放ってきた沖縄のアイデンティティーがあらためて注目されるなか、今号では沖縄の多様な音楽文化を支える「楽器」にクロズアップ。オーソドックスな管楽器や三線をベースにしたユニークな弦楽器など、個性豊かな楽器を展開する3つの工房に話を伺い、じつは伝統的な三線だけではない、「メイドイン沖縄」の楽器の魅力に迫った。

希少なオーボエを製作 沖縄が誇る世界有数の 木管楽器専門メーカー

株式会社 美ら音工房ヨーゼフ

プロの演奏者視点を生かし
オリジナル設計のオーボエを製作

有名なクラシック音楽「惑星」に登場する
木管楽器、バス・オーボエ。オーケストラ
で使用される機会が少ない楽器ということ



コロナ禍で2〜3年遅れとなったが、30周年モデルを今秋発売予定。写真は2011年発売の20周年モデル



東京の工場で作作している金具部品。最終的に南城市の工場で組み立てられ、芸術品のような楽器ができあがる

もあり、世界でも数社しか製作できるメーカーがないといわれているが、じつはそのうちの1社が南城市にある。ドイツでプロのオーボエ奏者として活躍していた仲村幸夫さんが設立した、木管楽器専門メーカー・美ら音工房ヨーゼフだ。

初めてオーボエを製作したのが1990年。奏者として自らが欲しいと思う楽器の設計アイデアを蓄積していた仲村さんは、ドイツからオーボエ製作のマイスターを招聘し基礎を習得。現在も人気を博すBasicシリーズの元となる第1号の



仲村幸夫さんとローラ恵利香さん。それぞれ手にしているのは、バス・オーボエと20周年モデルのオーボエ



工業製品をつくる機械を用いて精度を追求しながら、美しさを求める細かい部分は職人による手作業で仕上げている

株式会社 美ら音工房ヨーゼフ

南城市玉城字志堅原358-1

☎ 098-948-2502

http://www.josef-oboe.com/



オーボエを完成させた。「楽器の音の違いは、設計によるところが大きい。同じ楽器でもメーカー違いでなぜこんなにも音に差が出るのだろうか」という疑問を追求し、研究を重ねています。そうして生まれたオリジナルのオーボエは、国内はもちろんクラシックの本場であるヨーロッパでも多くの演奏家に支持されている。

材料調達の見直しや 新商品開発でリスクを軽減

オーボエ以外にもクラリネットやピッコロの製作もスタートし、順調に販売数を増やしていたなか、コロナ禍に見舞われた。海外からの物流もストップしたが、当時ヨーゼフは一部の部品を国内生産にちようど切り替えたタイミングだったため、大きなダメージは避けることができたという。「楽器製造に限らず、材料調達を海外に依存せざるを得ない状況は多いはず。それを変えたいと思って動いていました」と専務取締役のローラ恵利

香さん。木材は輸入に頼る部分が多いものの、集材材を使用する試みをするなど、今後さらに加速すると見られる世界的な木材不足に対応する取り組みも行っている。

またコロナ禍の初期頃、思うように工場が稼働できなかったことを逆手に取って、新商品の開発にも注力した。冒頭で触れたバス・オーボエもその1つだ。仲村さんは、より市場規模が大きいフルートやクラリネットにも今後は力を入れていきたいという。

「楽器販売業はヨーロッパが主戦場。日本にいる私たちが国際的な展示会に出品する際は一時輸入免税の手続き等を行います。手続きが遅れを取ってしまううえ、高額な費用がかかります。もう少し国や県からの芸術文化への支援があると嬉しいですね」。

新商品が加わり、今後はより多くの人にヨーゼフの楽器が演奏されることになる。クラシックの世界にその名がまた広まることになるだろう。さらなる躍進に期待が高まる。

三線×ウクレレで 沖縄の文化発展の 新しい道を切り開く

有限会社 MACHIDAYA

「手軽でかわいい三線を作りたい」
20年越しの思いを実現

サンレレという楽器をご存知だろうか。三線とウクレレを組み合わせたもので、読谷村の三線工房まちだ屋が開発・販売している。考案したのは、ラテン音楽バンド「ディアマンテス」のアルベルト城間さん。「沖縄に来た35年前、土産品店にウクレレが飾られているのをよく見かけました。でも高価なためか三線は見たことがなかった。ウクレレのように手軽に持ち帰れるかわない三線があればと思いました」。その頃からサンレレの構想はあったものの、思い

を抱えたまま20数年が過ぎ、そのなかで出会ったのがまちだ屋だったという。

当時はおもに、体験型観光施設・むら咲むらでカンカラ三線の製作体験を担っていたまちだ屋。カンカラ三線に、出身地であるペルーの楽器・カホンと同様のルーツを感じたアルベルトさんは、「僕が思い描く『サンレレ』を形にできるのはこの人たちがいい！」と直感し、サンレレ製作を依頼。同社代表取締役社長の町田宗朝さんが中心となり1991年に開発がスタートした。

サンレレは沖縄文化の 希望の星になれるか

宗朝さんは試行錯誤を繰り返して、10年もの歳月をかけて最初のサンレレを完成させ、その後も世界中の三弦楽器を研究し続けた。「社長は元来研究熱心なんです」と同社取締役部長の町田宗男さんは話す。「さまざまな三弦楽器があるなか、シガーボックスギターとカンカラ三線の歴史的背景が似ていることに運命の出会いを感じた社長は、2016年、木箱のボディでシガーボックススタイルのユニークなサンレレを開発しました」。

その後、宗男さんが開発を引き継ぎ、アクリルを使ったエントリーモデル「サンレ



木製「サンレレ琉球バインK1」はプロ仕様のハイエンドモデル。ポップなカラーが目目を引く「サンレレ海遊び(うみあしび)」はボディがアクリル製、木製のネックも防水設計で海などアウトドアでも安心



【物流対策総合支援事業】「物流に関する課題を解決したい!」物流に関する相談に応じ、情報の提供や改善提案等のアドバイスをを行います。





有限会社 MACHIDAYA (三線工房まちだ屋)

読谷村字高志保1020-1
☎ 098-958-3090
https://www.machidaya.jp/



「ウクレレの日」と同じ8月、そしてサンレレの語呂合わせから30日を選び、8月30日を「サンレレの日」に制定。お2人はその日に合わせて毎年ライブ配信などの企画を行っている。「いずれはサンレレフェスティバルを開催したい!」とアルベルトさん



サンレレのネックは三線より短めで、子どもや手が小さい方でも弾きやすい

レ海遊び(うみあしび)」が2017年夏に誕生する。「沖縄はマリンレジャーやビーチパーティーが盛ん。そのときに使える「濡れてもいい」三線があれば、と閃きました」。発売されると新聞などのメディアにも取り上げられ人気に火がついた。

県内のミュージシャンたちが使用するようになり、2019年にはグラミー賞受賞アーティストのミュージックビデオにも登場する広がりを見せている。

「サンレレにはフレットがあるので三線よりも練習しやすい。三線を弾ける人はもちろん簡単に慣れるし、単音も和音も演奏することが出来ます。サンレレを入口として、三線に興味を持つきっかけにもなるかもしれない」とアルベルトさん。町田さんが「材料不足を含め、伝統に固執し過ぎていた三線の在り方もここから変わっていくと嬉しいですね」とさらに期待を寄せるなか、アルベルト城間さんは「沖縄にはたくさん魅力があるけど一番大事にすべきは文化ですよ。どんどん進化して感動を与えてほしい!」とサンレレの延長に沖縄の発展への希望を見出していた。

沖縄県産木材と 伝統工芸の技で オリジナルの竖琴を製作

てるる詩の木工房

ギター製作や家具製作 工芸品の復元を経て竖琴の世界へ

うるま市で沖縄県産木を使った竖琴(ライアー)の製作・販売を行っている、てるる詩の木工房。運営しているのは、高良輝幸さんと、妻のり子さん。輝幸さんはギターの工場勤務を経て家具製作の道に進み、木工技術を極めてきた県認定の工芸士だ。現在はのり子さんとともに、琉球王国時代の美術工芸品の復元にも携わっている。

2人が竖琴の製作に乗り出したのは、のり子さんが偶然見つけたライアー奏者・平岡祐子さんのコンサートを訪れたのがきっかけだった。

「素晴らしい音と演奏でした。そして感動したと同時に、自分も素敵な竖琴を作りたいと思い立つたんです」と輝幸さん。終演後、平岡さんに直接感想を伝えつつ、すぐに竖琴を製作して届ける約束を取りつけたという。

輝幸さんは木工の工芸士ではあるものの、竖琴の製作に関しては未経験。だが2週間ほどで試作を完成させ、そこから改良を重ねた竖琴は、約束通り平岡さんの手に渡ることになった。突拍子もない話のようだが、まるで何かに導かれたような出会いだったという。

「楽器製作でも熱によって木材を曲げたり、膠(にかわ)で接着したり、工芸品の復元で使う昔ながらの技法がとても役に立っています。いまは化学のりなど便利なものもありますが、やはり昔の技法だと技術が必要な分美しく仕上がる。それは見た目だけでなく音にもしっかりと表れます」。そう話す輝幸さんからは、培ってきた技術が活かされたことへの自信がうかがえた。



工房の名前を冠した最高級モデル「てるる41弦」。特徴的なアーチトップのフォルムが美しい

丸太の調達から弦の製作まで すべての工程を一貫生産

高良さんたちは一般的な材木の他に、丸太でも仕入れをしている。直接木に向き合うからこそ、高級材材だけではないさまざまな県産木の魅力がわかるという。

「沖縄の森は宝の山ですよ。湿気が多いからか、沖縄の木は柔らかくて扱いにくいと思われがちですが、まったく逆です。たとえば県産桑の木。硬くて丈夫な上、木目がとてもきれいです」と輝幸さん。2021年に世界自然遺産に登録されたことで、今後の木材供給への影響が懸念されているが、比較的成長が早い桑の木の利用は木材の持続可能な供給にも一役買うと期待を寄せる。

また、こだわって作り上げた楽器に合わせる弦も自作している。ノウハウがあるドイツの工房で学び、弦巻き機から製作。市販にはない太さの弦も作れるようになり、音の表現の幅が広がった。「日本にはドイツのように、弦まで自作している小さな工房がないんです」とのり子さん。ものづくりが衰退し技術が失われていくことへの危機感をにじませた。「伝統工芸の技術も含め、若い人に伝えていかなければと思っています」。今後は竖琴だけでなく、オリジナルのギターやウクレレも販売予定だという。

オリジナルの弦を製作する
弦巻き機自体も自作



高良輝幸さんとのり子さん。手にしているのは、のり子さんのために製作したという総桑の竖琴



向かって左にいくほど高い音を、右にいくほど低い音を奏でる

てるる詩の木工房

うるま市川田416-1
☎ 098-974-1780
https://teruru-okinawa.com/

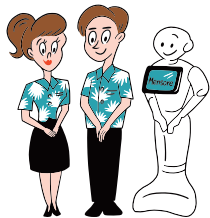


沖縄のデジタル化を推進!

ResorTech Okinawa

https://www.resortech.okinawa

沖縄県



県内企業の

IT活用・DX先進事例のほか、
支援・セミナー情報を
今すぐ入手!

参考に
しよう

支援情報も
充実!



復帰50周年シンポジウム開催

沖縄のデジタル化の歩みと未来へのヒントがわかる!

沖縄IT産業50年の歩みとデジタルが拓く沖縄の未来

ちむぐくDX
ResorTech
EXPO2022
in Okinawa

日時: 令和4年11月18日(金) 10:30~12:00
(ResorTech EXPO 2022 in Okinawa 開催期間中)

参加無料

会場: 沖縄コンベンションセンター 会議場 B1

定員: 58名(当日先着順)

※参加ご希望の方は、事前に
ResorTech EXPO来場登録をお願いします▶



ナイスなアイデア

話題になる新商品や新たな取り組みは必ずいいアイデアがもとになっている。知恵と努力とひらめきから生まれたものとは？



海を越えてあらためて注目される
沖縄の人気ソウルフード

『ポーたま』

ポーたま株式会社

できたてを味わう感動を
世界中の人に体験してほしい

沖縄県民のソウルフードともいえる「ポークたまごおにぎり」。それを旅行者が並んで買い求める人気グルメに押し上げたのが、ポークたまごおにぎりの専門



牧志市場店限定の人気メニュー「チキナー」



1号店の牧志市場店。ここを目的に市場を訪れる人も多く、平日でも行列が絶えない

店を県内に5店舗、県外に3店舗、海外に1店舗展開しているポーたま(株)だ。「最大のこだわりは、できたてを提供すること」と話すのは、同社代表取締役の清川勝朗さん。大阪府出身の清川さんは約20年前に縁があつて沖縄に移住し、数年後に沖縄の女性と結婚。ある朝、妻がつくってきたてのポークたまごおにぎりを食べてそのおいしさに衝撃を受けたという。「もともと好物でしたが、できたてを食べたのはこのときが初めて。できたてを食べる機会は沖縄の家庭以外ではなかなか得られないのではと思ったのが店を始めるきっかけになりました」。

清川さんは2014年、牧志公設市場近くに1号店をオープン。市場が開くよりも早い朝7時に開店することで、近隣に宿泊している観光客の朝食へのニーズに応えることができ、順調にファンを増やしていった。人気に大きく火をつけたのは、台湾からの観光客によるSNSへの投稿だったという。SNSの利用率が高い台湾でポーたまの情報は急速に広がり、店には外国人旅行者で行列ができるようになった。それがさらに話題を呼び、メディアに取り上げられる機会が増える

と、国内での注目度も上昇。コロナ禍以降も客数全体の約半数を県外からの観光客が占めている。創業から3年後には那覇空港、そして北谷のアメリカンビレッジと、次々に県内で店舗を増やし、2018年には初の県外進出で福岡・櫛田表参道店をオープン。そして2020年には、沖縄県産業振興公社による「平成31年度(2019年度)中小企業基盤強化プロジェクト推進事業」の支援を受け、ポークたまごおにぎりを世界に広げるための海外進出プロジェクトを実施。ハワイ・ホノルロイタルハワイアンセンターで海外初出店を果



代表取締役の清川勝朗さん。ポーたまの販売は、商売を教えたという師匠の「誰もやっていない新しいことに挑戦しなさい」という言葉が原点になっている

たした。今後も継続した海外への出店を視野に入れているという。

また今年の9月には、県外3店舗目として東京の新たな商業施設・東京ミッドタウン八重洲に店をオープンさせたばかりだ。

今後は食材にもより独自性を出していく計画で、その皮切りとして東京店では特別に開発した保存料・発色剤不使用、県産豚肉100%のポークランチョンミートを使用している。

「僕ができたてのポークたまごから受けた感動を多くの方に体験してほしい。店舗数が増えると、それだけ感動が広がっているということを実感しますね」。

できたてを食べる感動を届けたい、という清川さんの思いが沖縄のソウルフードをさらに世界中に広めていく。

新たな形で島の魅力を発信する
沖縄デザインのミントタブレット

『OKINAWAミント缶』

株式会社ブルーリンク

海外の土産品をヒントに
沖縄にきた記念が残る商品を開発

波打つ海や国道58号線、首里城といった沖縄を象徴するシーンをデザインに落とし込んだ「OKINAWAミント缶」

が今年4月に発売された。海外では定番の土産物として人気を博している缶入りのミントタブレットだが、意外にも沖縄県内ではどこにも売られていなかったという。

「アイデアを思いついたあと国際通りの土産品店をすべて回りましたが、類似品はありませんでした。『これはイケる!』と思い、すぐに知り合いのデザイナーに相談してデザインを進めました」と話すのは、OKINAWAミント缶の販売元である(株)ブルーリンクの代表・大坂美恵子さん。13歳までを中国で過ごし、帰国後は中国語を生かした仕事をしてきた。沖縄好きが高じて8年前に関東から移住し2020年にブルーリンクを立ち上げてからも、おもに中国を相手にノベルティ商品や生活雑貨の輸入業務を行っている。その繋がりから、缶本体の製造・輸入は中国の工場と直接交渉ができた。

ところが、肝心のタブレットの製造が難航した。「私は倉庫を持たず、配達担当などのスタッフもいないため、輸入してきた缶にタブレットを充填し、そのままパッケージングして配送までしてもらえようなパートナー企業を探していました。でも県内にタブレットを製造しているところがなく…。相談に行つては断られる日々が続きました」。そんななか、沖縄県産業振興公社の製造業県内発注促進事業に相談、マッチングできたのが、ウコンのサプリメント「酒豪伝説」で知られる(有)沖縄長生薬草の下地社長だったという。同社もミントタブレットの製造は未経験ながら、大坂さんの相談を受けフレーバーの開発から共に取り組み販売までこぎつけた。「今年4月に社長に就任されたばかりで、新しい挑戦に意欲的でした。下地社長がいなければOKINAWAミント缶はできなかった



デザインは現在の3種類以外に、離島バージョンを製作中。発売から1年を迎える2023年春頃には、新フレーバーの発売も計画している。企業のノベルティとしてデザインをアレンジしたミント缶も年内に展開する予定だ



「大好きな沖縄の魅力を、まだ知らない人にもアピールできるような商品作りをしたい」。その想いが大坂さんの原動力になっている

わしたショップなど土産品店の他、7月からはローソン沖縄各店での販売もスタートしたので、今後はさらに目にする機会が増えてくるだろう。

と思います」。

下地社長を動かした大坂さんの熱意はさらに多くの人の共感を得て、OKINAWAミント缶は沖縄県NEXT優良県産品に選ばれている。「缶のパッケージは収集家もいるようなジャンルで、中身を食べ終わってもそのまま使う人が多い。タブレットを詰め替えたり、アクセサリー入れにしたり、最近はずけまづけを入れている方もいるみたいですよ(笑)。形が崩れないからちやうどいつでも、皆さんそれぞれの用途があるようです」と、大坂さんはパッケージの汎用性を支持される理由のひとつに挙げた。

株式会社ブルーリンク
那覇市久茂地2-2-2 タイムスビル2F
☎098-988-4323
<https://blue-link.jp>





本社保設のショップ。観光向けの立地ではないが、SNSやオンラインショップを見て訪れる人が多く、客の半数近くを県外からの観光客が占めている

経営目的のひとつに「琉球の自立を目指す」を掲げるゆいまーる沖縄(株)。沖縄県産伝統工芸品の企画・販売を行っており、本社隣に併設しているショップには、同社オリジナルブランドの商品や目利きスタッフによってセレクトされた雑貨などが並ぶ。そんな同社が目指す「琉球の自立」とは一体どのようなことなのか。同社代表取締役社長

「差別される沖縄」からの脱却を目指して県産品の認知度を向上

県内産業を軸に経済を豊かにしていく 事業を通して沖縄の自立に貢献する

の鈴木修司さんから伺った話は、創業者である先代の若かりし頃まで遡る。

「当時はまだ沖縄出身者への差別があった時代。集団就職で上京した先代は、アパートの部屋が借りられない、居酒屋で入店を断られるといった差別を目の当たりにしたことで、同郷の仲間たちと沖縄が置かれている状況を学び、それらを変えていくための活動を始めました。そのなかで、問題の根本解決には沖縄が自立しなければいけない、そのためにまずは県の産業を軸に経済を回していこうという考えに至ったそうです」。

その思いで創業して10年以上が経った頃、潮目が変わったのはNHKの連続テレビ小説「ちゅらさん」の大ヒットだった。沖縄物産の知名度が一気に上がり、沖縄に対するイメージもがらりと変わった反面、急なブームによって沖縄の物産業界が疲弊しているのを感じた鈴木さん。「県産品の知名度や好感度は上がりましたが、物産や土産品としてのイメージが定着してしまい、価値をつけて売ることができていません



ゆいまーる沖縄 株式会社
代表取締役社長
鈴木 修司 さん

千葉県出身。移住後、ゆいまーる沖縄の創業者・玉城幹男さんの考えに触れ行動を共にしたことで、基地問題など沖縄が置かれる状況に深く関心を持つ。2007年に共同で代表を引き継ぎ、2011年より現職。玉城さんの意志を継承し、事業を通して沖縄の文化・産業の地位向上を目指している。

した」と当時の苦い思いを振り返る。

それから数年後、先代から鈴木さんに代替わりしてからは、工芸品をブランド化するなど付加価値を高める方向にシフトチェンジしていった。また商品に合わせて流通先を分け、「どこでも買えるもの」にはしないことでさらにブランディングを推進している。

沖縄の人々が沖縄に誇りを持てるようになることが自立への一歩

最近では小売先に営業するよりも、問い合わせを受けて注文に至ることが多くなりブランディングの手応えを感じ始めている。

一方で、沖縄の自立については「産業のあり方は、沖縄ブームの前から根本的に変わっていないと思う」と鈴木さん。「伝統工芸は儲かりにくい」という問題がネックになっているという。

「とくに染織物の業界では、生産者側に利益率の確保や売価設定などの主導権がないといった昔ながらの流通構造も、利益を向上させるためのハードルをさらに上げています」。収入が安定しないため、後継者不足も続いている。

「経済的な成功が見込めず、伝統を継承する人も少ない。そんな状況では、沖

縄の人たちは沖縄の文化に誇りを持ってなくなってしまう。私たちが目指す『琉球の自立』は、沖縄に暮らす人々が沖縄に誇りを持つこと、そのために自ら主導権を持ち、自らの意思で状況を判断し選択できるようにするということです」。

今後ゆいまーる沖縄では、流通を含め、沖縄工芸全体の体質改善を目指すのはもちろん、新たな取り組みとして旅行業社とタイアップしたクラフトツーリズムの事業化を予定している。

「沖縄の工芸はほぼ100%手作業なのでその文化や歴史的背景を知れば、きつとファンは増えていく。クラフトツーリズムがそのきっかけになれば」と鈴木さん。直接商品を購入することができると、作り手と買い手をつなぐ架け橋としても期待を寄せている。



沖縄県立芸大とのコラボレーションで生まれたデザインブランド「シマノネ」。沖縄の伝統的な柄や沖縄の自然、文化からインスピレーションを得て、学生たちが12柄をデザイン。それらをハガキやお茶缶、てぬぐいなどさまざまなプロダクトに落とし込んだ人気商品

琉球ガラスならではの色使いや技法を用いて、太陽系の星々を表現したPLANETシリーズ。太陽を含む全9種類のガラスはコレクションしたくなる美しさ



ゆいまーる沖縄 株式会社
南風原町宮平652
☎ 098-882-6990
<https://www.utaki.co.jp/>



POINT PYURU 化粧品づくりをトータルサポート オリジナル化粧品

OEM

20年間で約350社以上のOEM実績あり

ヘアケア製品 シャンプー・コンディショナー・ヘアオイル
スキンケア製品 洗顔料・化粧水・美容液・クリーム
医薬部外品 美白美容液・薬用ハンドソープ・薬用育毛剤
エステ・スパ・ホテルアメニティ マッサージオイル・ジェル

OEMの一例

機能性の水へのこだわり 久米島海洋深層水使用



「沖縄県海洋深層水研究所」とパイプラインで直結し、一度も外気に触れることなく工場内へ送水、精製した海洋深層水を100%全ての化粧品のベースに使用しています。

機能性原料から話題の原料まで取扱いございます

- Pt.ナノ
- ヒト幹細胞培養液エキス
- CBD・NMN
カンナビジオール ニコチンアミド/ヌクレオチド
- 沖縄の自然素材



- 化粧品製造業・製造販売業
- 医薬部外品製造業・製造販売業

株式会社ポイントピュール
<https://pointpyuru.co.jp>

沖縄県島尻郡久米島町字真謝486-12



金城美織さん（Vo.）、田中秀樹さん（Gt.）、佐々木皓太さん（DJ/Vo.）3名によるユニット。2010年に結成し、2011年7月に県内の人気バンドを多く生んだ「シーポートちやたんカーニバルインディーズミュージックコンテスト」にてグランプリ受賞。2013年オリオンビール「クリアフリー」CMソングに「キミニトドケ」採用。その後アルバムをコンスタントにリリースし、2022年10月30日から開催される第7回世界のウチナーンチュ大会のテーマソング「歌らな踊らな」を歌うことが決定。

green note coaster 公式サイト
https://www.gnc-music.com/top



第7回世界のウチナーンチュ大会公式サイト
https://wuf2022.com/ja/



「歌らな踊らな」の最後の口説（くどち）はメンバー自身で作詞している。楽曲は「第7回世界のウチナーンチュ大会」公式サイトで無料配信中。

大会期間中、「世界のウチナーンチュ」の一員としてステージに立つ3人の姿にもぜひ注目してほしい。

どんなに暗いところにも光が射すように 希望があることを歌で伝えたい

現在は東京を拠点に活動しているが、「いずれは沖縄で、子どもたちに音楽の楽しさを知ってもらえるような活動がしたい」と話すのはボーカルの金城美織さん。「沖縄の人って、いつかは地元に関心したい」と思っている人が多いと思います。『世界のウチナーンチュ大会』も、そんな沖縄の人たち、沖縄にルーツを持つ人たちの気持ちが集まって実現しているものじゃないでしょうか。

「どんなに暗いところにも光が差す、光に向かっていく」というイメージを歌で伝えていきたいと思っています。

green note coasterは、前向きで明るい楽曲はもちろん県の広報番組のオープニングテーマにもなった「ブルーバード」や「さくら」など悲哀を歌う楽曲も、共通して「希望」を感じられるようにしているという。

「どんなに暗いところにも光が差す、光に向かっていく」というイメージを歌で伝えていきたいと思っています。

green note coasterは、前向きで明るい楽曲はもちろん県の広報番組のオープニングテーマにもなった「ブルーバード」や「さくら」など悲哀を歌う楽曲も、共通して「希望」を感じられるようにしているという。

「第7回世界のウチナーンチュ大会」のテーマソング「歌らな踊らな」。会えない時間を経て再会できることへの喜びを表現した、まさにコロナ禍を経験して初の開催となる同大会を象徴する楽曲になっている。歌うのは、県出身の3人組アーティストgreen note coasterだ。

2010年の結成後、イベントやライブ等を中心に活躍しながら、企業や自治体のCM・キャンペーンにいくつも楽曲を提供してきた。今回の「歌らな踊らな」は公募への参加で選ばれている。「作曲を手がけた玉置淑晴さんからお話をいただいたので応募しました。歌詞や音には私たち自身がつくる楽曲ともリンクするメッセージ性がありまして、何より『会えない時間を乗り越えてみんなで集まろう』といったテーマが現在の時代にぴったりだと思いました」。

公社ネットワーク会員 プレスリリース

日常業務の負担軽減を図る！

御社のDX推進化のお手伝いをいたします

弊社では、お客様のアナログで繰り返し行っている業務などを最新のICTなどを活用し、日常業務の負担を軽減することをお手伝いいたします。

例えば、日々の業務でエクセルや基幹業務ソフトを使用して、単純作業を繰り返し行っている業務を、RPAというソフトウェアのロボットにその業務を覚えさせ、人間の代わりに行ってもらうことで、ご担当者様の負担の軽減化を図ることが期待できます。

弊社ではRPAのロボットに業務を覚えさせるためのプログラム作成とサポートを行い、お客様の業務改善のお役にお立ち致します。

詳しくは下記QRより特集ページをご覧ください。

株式会社ユナイテッドシステム
☎ 098-877-2135
https://uom.co.jp



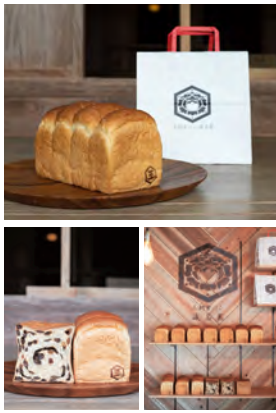
識名園を多くの人に知ってほしい！

世界遺産にある食パン専門店

琉球王家最大の別邸であり、世界遺産として登録されている識名園の券売所横に、いまいパン×真地自治会協同売店が運営する「王朝食パン 識名園」が2021年3月にオープンしました。令和3年度那覇市長賞優秀賞を受賞した「国王の食パン」ほか、最高級のモハベレーズンを配合した「王妃のぶどうパン」が看板商品。識名園の知名度を広めたいと願いを込めて開発した「識名園るうまんぺい」は全国菓子大博覧会にて「名誉総裁賞」を受賞しています。

識名園にたくさんの方にお越しいただき、土産話として、また、当店のパンやお菓子を土産にしていただけたら嬉しいです。

王朝食パン 識名園
☎ 098-961-3233
Instagram: ohcho_shokupan_shikinaen



大平信孝 著
かんき出版
税込 1,540 円

「やる気が出ない」という人がいます。脳をつまく使うことで、意志が弱くても行動し、夢や目標に向かって踏み出すための行動思考を身につけ、すぐやる人になる37のコツを伝える本になっております。やりたいことはあるけれど、それを実現するための行動を起こしていない人は多くいます。これは脳が面倒くさがっているだけで、脳の仕組みを理解し、行動スイッチの入れ方を知れば誰でも自分を動かすことができるようになります。本書では、アドラー心理学や脳科学に基づいた、「やる気に頼ることなく自分を動かすためのコツ」を豊富なイラストを交えながら紹介しております。



森岡毅 著
ダイヤモンド社
税込 1,650 円

この本は自分の強みをどう知るか。自分の弱さとう向き合うのか。USJ復活の立役者でもある著者の森岡毅さんが、「自分をマーケティングする方法」を伝えております。今、仕事で悩んでいる人、キャリアに悩むすべての人に役立つ本質的ノウハウが掲載されており、今後の将来に向けてどうあるべきか、将来に不安のある人々へのメッセージをお伝えしております。メディアでもかなり注目され、ビジネス書ランキング上位に入るほど注目されております。ぜひこの機会に手にとってみてはいかがでしょうか。

「やる気が出ない」という人がいます。脳をつまく使うことで、意志が弱くても行動し、夢や目標に向かって踏み出すための行動思考を身につけ、すぐやる人になる37のコツを伝える本になっております。やりたいことはあるけれど、それを実現するための行動を起こしていない人は多くいます。これは脳が面倒くさがっているだけで、脳の仕組みを理解し、行動スイッチの入れ方を知れば誰でも自分を動かすことができるようになります。本書では、アドラー心理学や脳科学に基づいた、「やる気に頼ることなく自分を動かすためのコツ」を豊富なイラストを交えながら紹介しております。

「やる気が出ない」という人がいます。脳をつまく使うことで、意志が弱くても行動し、夢や目標に向かって踏み出すための行動思考を身につけ、すぐやる人になる37のコツを伝える本になっております。やりたいことはあるけれど、それを実現するための行動を起こしていない人は多くいます。これは脳が面倒くさがっているだけで、脳の仕組みを理解し、行動スイッチの入れ方を知れば誰でも自分を動かすことができるようになります。本書では、アドラー心理学や脳科学に基づいた、「やる気に頼ることなく自分を動かすためのコツ」を豊富なイラストを交えながら紹介しております。

「すぐやる人になる」コツを身につけて、「あとでやる」をやめる技術を紹介します。



ビジネス書を未来に進めるヒントは読書から。良いインスピレーションが、良いアウトプットに！



Junkdo 那覇店

〒900-0013
沖縄県那覇市牧志 1-19-29
D-NAHA 地下1階～3階

電話番号：
098-860-7175

営業時間：
10:00～21:00



Introducing business books

モノレール美栄橋駅から徒歩約2分



第7回 世界のウチナーンチュ大会



第7回世界のウチナーンチュ大会

The 7th Worldwide Uchinanchu Festival



うちなーのシンカ、今こそ結ぶ世界の輪。
復帰50周年の今年、
「第7回世界のウチナーンチュ大会」開催！



開催日時 2022年 10月30日(日)～11月3日(木)

概要 第7回大会は、ウチナーネットワークを継承・発展させ、ソフトパワーや最新技術の活用による持続可能な交流・協力を実践し、各地の発展に寄与することを目的として開催します。

公式URL <https://wuf2022.com/ja/>

お問い合わせ先 ウチナーンチュ大会実行委員会事務局
☎ 098-866-8060

10th沖縄大交易会2022

10th 沖縄大交易会 2022



日本最大規模の『食』の国際商談会!!
20億人以上の巨大マーケットを目指し
日本全国の特産品を沖縄からアジアへ!



開催日時 【オンライン商談会】2022年 8月1日(月)～12月23日(金)

【リアル商談会】2022年 11月24日(木)・25日(金)

概要 沖縄大交易会は、沖縄県を含む日本全国の特産品を海外市場で販路拡大につなげることを目的に開催されます。事前マッチング型においては日本最大規模の『食』をテーマとした国際食品商談会です。

公式URL <https://gotf.jp/2022/>

お問い合わせ先 沖縄大交易会実行委員会事務局
〒901-0152 那覇市字小禄1831-1 (沖縄県産業振興公社内)
☎ 098-851-7463 ✉ daikouekikai@okinawa-ric.or.jp

おきなわ花と食のフェスティバル2023

おきなわ花と食のフェスティバル2023



ていだサンサン
食べたらがんじゅう沖縄産!



開催日時 2023年 1月21日(土)・22日(日) 10:00～17:00

会場 奥武山公園(沖縄県立武道館、セルラースタジアム那覇周辺通路、第2駐車場)

概要 花と食のフェスティバルのテーマは「地産地消」。沖縄の農業・漁業・林業の生産者と消費者をつなぐため、各地の特産品が集い賑わす県内最大級のイベントです。意外な発見があるかも。

公式URL <https://hanashoku.online/> ※準備中

お問い合わせ先 おきなわ花と食のフェスティバル2023推進本部
(事務局:JAおきなわ担い手サポートセンター)
〒900-0025 那覇市壺川2-9-1 (JA会館)
☎ 098-831-5565 <https://www.ja-okinawa.or.jp/>

第46回 沖縄の産業まつり



沖縄の産業まつり



沖縄の産業まつりで
「チムドンドン」する「魅力がいっぱい」な
「県産品」に出会おう!



開催日時 2022年 10月21日(金)～23日(日)

【屋内展】10:00～19:00 【屋外展】10:00～20:00

概要 沖縄の産業まつりは、沖縄県内の全産業を一堂に集め、展示・即売する総合産業展です。沖縄グルメや泡盛・ビール等の販売や市町村の特産品コーナー、産学官の取り組み紹介などが催されます。

公式URL <https://sangyo-maturi.okinawa/> ※10月初旬公開予定

お問い合わせ先 沖縄の産業まつり実行委員会事務局(沖縄県工業連合会内)
〒901-0152 那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター607
☎ 098-859-6191 <http://www.okikouren.or.jp/>

ResorTech EXPO 2022 in Okinawa



ResorTech EXPO 2022 in Okinawa



県内最大級のITやDXの展示会!
先端技術を活用した新たな
製品やサービスに触れることができます。



開催日時 【リアル会場】2022年 11月17日(木)・18日(金) 10:00～17:00

【オンライン】2022年 11月1日(火)～2023年 1月8日(日)

会場 沖縄コンベンションセンター(リアル会場)

概要 展示はもちろん、各種セミナー・シンポジウムの開催、オンラインにて同時配信もいたします!全産業のビジネスパーソン、行政・自治体関係者、学生のみなさん、会場にてお待ちしております。

お問い合わせ先 ResorTech EXPO in Okinawa 実行委員会
〒901-0152 那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター505-2
一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター(ISCO)内
✉ resortech@isc-okinawa.org <https://resortech-expo.okinawa/>

美ら島おきなわ文化祭2022



美ら島おきなわ文化祭2022

第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭



国内最大の文化の祭典!
全国的な規模で文化芸術を発表、共演し、
誰もが楽しめる文化祭。



開催日時 2022年 10月22日(土)～11月27日(日)

概要 会期中の37日間に、県が主催する総合フェスティバル、市町村が主催する分野別フェスティバルの他、連携イベントも含めて160以上の多様な文化イベントが離島も含めた県内全域で開催されます。

公式URL <https://okinawa-bunkasai2022.jp/>

お問い合わせ先 美ら島おきなわ文化祭2022 沖縄県実行委員会事務局
〒900-0029 那覇市旭町116-37 沖縄県南部合同庁舎9階
☎ 098-917-1108 FAX 098-867-4234

設備の導入を応援します!!

【機械類貸与制度】割賦・リース制度のご案内

1.7%～

年利率

固定金利

1年据置き

無担保

【お問い合わせ先】

公益財団法人 沖縄県産業振興公社 経営支援課
☎ 098-859-6237 その他の要件等はHPでご確認ください。



「機械類貸与制度」の主な4つの特徴

- 金利は1.7%～2.1%です!**(※割賦販売の場合)
制度の利用実績や財務状況等により金利が決まります。
また、固定金利となりますので、返済計画が立てやすくなります。
- 元金支払いは、設備導入より1年後からスタートできます!!**(※割賦販売の場合)
申込企業の資金繰り状況に合わせて、措置期間は1年・6ヶ月・0ヶ月(措置なし)から選択できます。
- 不動産担保・信用保証協会の保証は不要です!**
※貸与する機械が担保となります。
※ただし、審査委員会の結果によっては、不動産等の担保を求める場合があります。
- 貸与期間は10年以内です!**(※申込機械の耐用年数に応じて短くなる場合があります)
貸与期間が10年以内の長期となりますので、耐用年数が長い機械導入に対して、毎月の支払い負担額が軽減されます。





沖縄県と福建省 友好県省締結25周年

沖縄県と福建省は、今年2022年に友好県省締結25周年を迎えます。これまでの両地域の交流の歩みや、交流の中で花開いた学生エイサー活動について、福州駐在所の2人が語ります。

これまでの交流の歩みと 次の30周年に向けて（張副所長）



福州駐在所
副所長 張

沖縄県と同じ緯度にある福建省は、海岸線が長く、遠い昔から琉球王国を始め、諸外国との交流が頻繁に行われたことから、2021年にユネスコの世界遺産として登録された泉州市の遺跡群もあれば、琉球王国との往來の頃に誕生した、福州市にある琉球館や琉球人墓苑など古くからある名高い史跡もあります。

沖縄県とその交流のゆかりの地である福建省は、友好県省を1997年に締結しました。その翌年には、沖縄県の福州事務所と友好交流のシンボルである福建・沖縄友好会館がオープンすることになりました。

これまで文化、経済、環境保全、農林、都市建設、スポーツなどの多方面での交流を行ってきました。特に2016年に両地域の間で経済交流促進に関する覚書が締結されて以来、福州海峡博覧会など各種展示会への出展や、県産品福建省輸出実験、官民一体ニューエイサー人材育成事業などの調査事業が行われたことから、両地域の経済交流がいつそう深まりました。

また、県内観光関連企業が参加した福建省就職相談会の実施などにより、福建省出身の語学堪能な人材が沖縄の空港、リゾートホテル及び旅行社などへの就職が可能となり、人材交流の流れが加速しました。

さらに、厦門港を母港とする宮古島、那覇へのクルーズ船の就航によって、福建省では沖縄の知名度が一気に高まり、いまや、沖縄と言えば、「海が美しい」、「自然が豊か」、「独特な土地柄・歴史がある」等々、福建省の人にとって沖縄の魅力は満載で、東京や大阪など日本の大都市と並び、一度行ってみたい人氣観光地にランク入りしました。

今年で友好県省締結25周年という節目を迎えますが、両地域の一層の繁栄、

人々のさらなる幸せのため、交流を継続していきたい、5年先の30周年も同じようにお祝いしたいと思っています。またいつか、沖縄⇄福建の直行便が再開することを願っています。

エイサーを通じて絆を深めた 沖縄県と福建省（黄）



福州駐在所
スタッフ 黄

沖縄県と福建省の交流は600年以上あると言われています。食文化、清明祭、お盆など、共通点が沢山あり、昔から双方の結び付きが深いと感じます。近年、福建省からクルーズ船寄港など交流を深化させる動きが見られていますが、沖縄を代表する伝統芸能であるエイサーも、福建省の地に大きな花が咲いた、交流の成果の1つとなっています。



2019年第5回福建省大学エイサーチャンピオンシップ参加者の集合写真

そもそも、福建省でなぜエイサーが根付き始めたのか。聞くところによると、最初は、沖縄県に留学経験がある学校の先生からエイサーが伝わってきたといわれています。2013年、当時の沖縄県福州駐在員が福州市にあるエイサー太鼓などを活用したいと考え、大学エイサー団体を3団体作りしました。それから、福建省内の大学エイサー団体がどんどん増え、現在は10団体を数えるまでになりました。2015年にエイサーによる交流を目的とした、第一回目の福建省大学エイサーチャンピオンシップ大会を開催して以来、福建省の大学の中から、毎年エイサーチャンピオンを選ばし、優勝団体は沖縄に派遣され、沖縄のエイサー団体との文化交流を行っていました。派遣等の往來の交流はコロナ禍前まで行われ、2020年以降のオンライン開催を含め、2021年までに計7回の開催を行いました。2022年、沖縄県と福建省の友好県省締結25周年の節目を迎えることから、友好の絆を今後も繋げていきたいと考えています。



QRコードを読んで応募 読者プレゼント

アンケートに答えて県産品を当てよう!!

ポーたま(株)より「ポーたま1個」を 抽選で10名様にプレゼント

とってもおいしい「できたて」のポーたまをごにぎりをプレゼントします。ポーたま牧志市場店に直接取りに来られる方限定です。受け取りの際は、当選時にお知らせする合言葉を店舗にてお伝えください。とびきりのおいしさを、ぜひ!



応募締切：2023年2月28日(火)必着

- 応募方法
- QRコードを読み取り、必須項目をご入力の上、ご応募ください。
 - ご応募は1回のみとさせていただきます。
 - メールにてご当選のご連絡をいたします。
 - 個人情報保護法に基づき、当選案内時の情報としてのみ使用いたします。



タブロイド判
沖縄ペンチャースタジオ 70号
2022年10月4日発行

発行：(公財)沖縄県産業振興公社 ☎ 098-859-6237
<https://okinawa-ric.jp>

編集：光文堂コミュニケーションズ(株) ☎ 098-889-1131

本紙についてのご意見・感想、広告掲載に関するお問い合わせは
ovs@okinawa-ric.jp まで「情報紙について」の件名を入れて送信して下さい。

※非売品につき有償での譲渡および転売を一切禁じます

海外REPORT

友好県省締結25周年を迎えて さらに深化する沖縄県と福建省の交流

from 福州



上海事務所
兼 福州駐在所
所長 眞境名 悠

今年2022年は、沖縄県と福建省の友好県省締結25周年です。

福州駐在所は、友好県省締結の翌年に建設した「福建沖縄友好会館」の管理運営や、福建省における沖縄への観光誘客、県産品の販路拡大、沖縄県内企業の現地活動支援などの業務を担っています。

私が駐在所長として上海事務所長と兼任しており、また、駐在所副所長とスタッフの2人が現地に常駐しています。

エイサーを通じた文化交流やクルーズ船の就航による人的交流など、年々、沖縄県と福建省の交流は深化し続けてきており、コロナ禍に入った現在においても、文化・経済交流に関する様々な活動が行われてきました。

那覇や宮古島とのクルーズ船就航地である福建省厦門市、ここで昨年2021年に開催された「厦門旅行博覧会」においては、観光ブースで沖縄の概要や観光の情報を発信するとともに、大ステージで、三線の生演奏に合わせて、福建省の学生によるエイサー演舞を披露しました。非常に多くの観客の皆様がエイサー演舞にきぎ付けとなり、あの会場の一体感は今でも忘れることのできない一幕となっています。

エイサーといえば、2015年に第1回大会を開幕して以来、毎年開催している「福建省大学エイサーチャンピオン

シップ大会」は、今年で第8回を迎えます。

第1回大会の際にエイサーを演舞していた学生も今では社会人となり、福建省内でエイサー普及が進むにつれて、年々、福建省のエイサーを取り巻く人材の層も厚くなっていくのを感じています。このようなエイサーを取り巻く人材の層の存在は、沖縄県と福建省の経済・人的交流のさらなる促進につながることでしょう。

今年に入りさらに嬉しいニュースをいただきました。福建省福清市という地域にある「福建技術師範学院」という学校、この学校に以前から福建省内のエイサー普及に取り組んでいた先生が赴任されたことがきっかけで、今年2022年、新たにこの学校でも学生エイサー団体が設立することになりました。福建省内の学生エイサー団体としては、これで10団体目となります。



「福建技術師範学院」エイサー団体設立式

コロナ禍においても着実に深化し続ける両地域の交流、私たち福州駐在所は今後もこれまで以上に取り組んでいきたいと思っています。沖縄県と福建省、加油!(ちばりよー!)

海外事務所 facebookやってます!
<https://www.facebook.com/okinawa.kaigai.ric>



「厦門旅行博覧会」の大ステージで福建省の学生がエイサーを演舞

【お問い合わせ先】海外・ビジネス支援課 担当:仲嶺 ☎ 098-859-6238

